



今こそ「対話」により生まれる深い学びを

福島県教育庁相双教育事務所長 佐藤 公一

令和6年度のスタートからおよそ1か月が過ぎました。どの学校においても、教職員、児童生徒ともに新たな気持ちでのスタートを切り、ようやく各種教育活動も軌道に乗ってきた頃ではないかと思えます。昨年度は新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行し、学校に限らず世の中では様々な制限が撤廃されていきました。児童生徒の学びについてもコロナ禍前の活動がだいぶ戻ってきました。感染対策により、一時は面と向かって人と話し合う場面が極端に奪われ、「主体的・対話的で深い学び」の「対話的」な部分が制限を受けることが多くなっていました。一方で教育DXが進み、一人一台端末の活用により、離れていてもオンラインで話合ができるようになり、各自の考えもクラウド上で共有できるなど、授業のICT活用が深く浸透してきました。個別最適な学びの実現など、デジタルのメリットを享受できる新しい教育環境が十分に整ってきていると同時に、様々な実践の蓄積も進んでいます。コロナ禍では対応に手探りの部分が多かったとは思いますが、そう

いった苦勞で得たノウハウをいかしながら、今こそ児童生徒が主体となる対話的な学びのある授業改善を推進していただければと思います。

相双教育事務所では「未来を拓く教育を 相双から」をキャッチコピーとして、相双教育アピールをリニューアルしました。目指す教育の基本理念をアピールするとともに、「授業づくり編」では、共通実践事項を掲げ、「『対話』により生まれる深い学びの創造」に向けて共通実践事項を明記し、「対話的な学び」へ重点化を図りました。各種要請訪問や研修会等では、この相双教育アピール授業づくり編を活用しながら、先生方の授業づくりの支援に当たって参りますので、各学校では当所がWeb上で紹介している「授業デザイン例」とあわせて、学びの変革に向けた授業改善に活用していただければと思います。学校の現場で児童生徒と向き合い日々奮闘している先生方を支え、共に考える伴走者としての教育事務所を目指し、今年度も所員一同取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

令和6年度 相双教育アピール（教育理念・授業づくり編）

【「教育理念」について】

社会や生活の在り方に様々な変化が起こる予測が困難な現代社会において、子どもたちには様々な課題に向き合い、社会の大転換を乗り越えながら、新しい未来の姿を構想し実現させていくことが求められています。さらに相双地域では、様々な研究開発が活性化しており、今後、科学技術力や産業競争力の強化を図るための人材育成、多様な背景を持つ人々を受け入れる環境づくりが必要となってきます。

相双教育事務所では、これら時代の要請を相双の教育の充実を図るチャンスと捉え、目指す教育の基本理念を「**主体性をもって 多様な他者と協働し 新たな価値を創造できる人間の育成**」と掲げ、各種施策を重点的に取り上げ推進していくことといたしました。



【「授業づくり編」について】

相双教育事務所では「令和の日本型学校教育」で示されている、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資するために、先生方と取り組む共通実践事項を以下のように掲げました。

① 「子ども主体の『対話的な学び』を引き出す教師の仕掛けづくり」

② 「子ども(学習者)の視点からつくる『深い学び』」

特に今年度は、単なる話合いではなく、自身の学びを深める「対話的な学び」の実現に向けて、先生方と一緒に考えていきたいと思えます。詳細は相双教育アピールをご覧ください。



令和6年度 福島県教育委員会の主な事業

第7次福島県総合教育計画「学びの変革推進プラン」に基づき、全体的な推進を図りながら域内の課題の解決に向けて各種事業を実施しています。相双教育事務所で行っている主な事業を紹介いたします。各事業で授業公開や研修会を実施しますので、ぜひご参加ください。

道徳教育総合支援事業

「考え、議論する道徳」への質的転換を図る授業改善を目指し、地域、学校、児童生徒の実態を踏まえた実践研究を行います。本年度より相双地区はいわき地区と共同での開催になります。また、道徳科授業充実パワーアップ研修会を年2回開催し、そこでは昨年度の道徳教育推進校である原町第一中学校による研究報告を予定しています。

不登校・いじめ等対策推進事業 スペシャルサポートルーム(SSR)

不登校及び不登校傾向の児童生徒の居場所づくり、自己実現の支援を目的とした特別な教室(SSR)を設置します。また、SSR等の実践やいじめ防止への取組等の成果と課題を共有し、各校での実践につなげることを目的とし協議会を開催します。【実践校】尚英中学校 中村第一中学校
中村第二中学校 原町第一中学校

ふくしま幼児教育研修センター事業

幼児教育の質の向上や人材育成等を目的とした研修の支援として、ふくしま幼児教育研修センター指導主事や幼児教育専門員等が、市町村や団体が主催する研修会について指導助言等を行います。単独で行う研修はもちろん、近隣市町村等と合同で行う研修会も対象としておりますので、ぜひご活用ください。【推進モデル地区】南相馬市

ふくしま英語力向上事業

「ふくしま外国語教育推進リーダー活用事業」、南相馬市をモデル地区とした「小中高連携推進事業」、「ふくしまの高校生英語力診断」、「英語担当教員エンパワーメント研修」の4つの小事業を推進します。【推進リーダー】皆川 歩美(新地小) 菊池 美紀(桜丘小) 八巻 牧(鹿島小)
【協力校】原町第一小学校 原町第一中学校 原町高校

未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業 イノベーション人材育成推進教員活用事業

イノベーション人材育成推進教員の育成と活用を通して、小・中学校の理数教育においてSTEAM教育の視点を生かした授業や探究的な授業を行うことで、児童生徒の理数分野への興味・関心の向上と域内教員への普及を目指します。【算数・数学】吉田 惇一郎(中村一小) 横道 喬(鹿島中)
【理科】佐藤 陽平(新地小) 渡部 兼介(中村一中)

ふくしまスーパーサイエンススクール事業

再生可能エネルギーや医療、ロボット分野、プログラミングなどの体験型講座等を通して、福島イノベーション・コースト構想に係る職業や産業への興味・関心を醸成するとともに、将来に対する夢や希望を膨らませ、将来の福島を担う人材の育成に向けて裾野を広げます。【実践協力校】新地小学校 中村第一中学校

学力向上支援アドバイザー事業

本県全体の傾向として課題が見られる算数・数学について、教員の授業力向上を図り、児童生徒の資質・能力の育成を目指すため学力向上支援アドバイザーを配置します。域内においては、飯豊小学校にアドバイザーを配置し、4校(配置校を含む)で勤務いただきます。(県内に10名配置) 【学力向上支援アドバイザー】佐藤 博(飯豊小)

今後の主な研修会等の予定(5月～8月)

- 5月24日(金) 教育相談コーディネーター第一次研修会(杉妻会館)
- 5月29日(水) 小・中学校特別支援コーディネーター研修会(かしま交流センター)
- 6月19日(水) スクールカウンセラー等地区別研修会(万葉ふれあいセンター)
- 6月26日(水) 不登校・いじめ等対策域別シンポジウム(万葉ふれあいセンター)
- 7月4日(木) 教育相談コーディネーター第二次研修会(伊達市ふるさと会館)
- 7月31日(水) 体育・保健体育指導力向上研修地区別研修会(石神中学校)
- 8月2日(金) 学級・授業づくりセミナー(原町第二小学校)

その他、各種研修や協議会の予定については、「令和6年度相双域内行事一覧」及び各開催通知をご確認ください。

ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業 地域支援体制整備事業

この事業では、重点の一つとして「就学の仕組み」を挙げ、「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進を図っています。「教育的ニーズ」の内容を障がい種ごとに具体化し、学びの場を判断する際に重視すべき事項が記載されている「障害のある子供の教育支援の手引」(文部科学省)に基づき、取組の充実をお願いいたします。